令和7年第6回野洲市教育委員会定例会 議事録

- 日 時 令和7年4月23日
開会時刻13時35分
閉会時刻15時02分
○場 所 人権センター 研修室

○出席委員

教育長 北脇 泰久
委 員 本田 亘 委 員 瀬古 良勝
委 員 南出 久仁子 委 員 山崎 玲子

○出席者

教育部長	田中 明美
教育部政策監（幼稚園教育担当）	北田 一栄
教育部次長	川崎 小百合
教育部次長（学校教育担当）	小寺 岳正
教育部次長（幼稚園教育担当）	辻村 朗子
こども課長	中野 良博
学務課参事	原嶋 亜紀
生涯学習課長	井狩 吉孝
生涯学習課参事	蜂屋 正雄
ふれあい教育相談センター所長	堀 圭一郎
学校給食センター所長	北田 岳宏
野洲図書館長	早田 ひとし
文化財保護課長	福永 清治
歴史民俗博物館長	大岡 哲也
人権施策推進課長	澤本 奈見子
学務課長（事務局）	荒川 貴之
学務課職員（事務局）	枝 瑞紀

【北脇教育長】 それでは、これより令和7年第6回野洲市教育委員会定例会を開会いたします。

本日の出席委員は全員で、定足数に達していますので会議は成立をしています。

次に、日程第1、会期の決定についてですが、本日1日限りとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

【北脇教育長】 ご異議ないようですので、会期は本日1日限りといたします。

次に、日程第2、令和7年第5回定例会議事録の承認についてですが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

【北脇教育長】 ご異議ないようですので、第5回定例会の議事録は承認されたものと認め、後ほど本田委員と瀬古委員にご署名をお願いします。

次に、日程第3、令和7年第6回定例会議事録の署名委員の指名についてですが、会議規則第19条第2項の規定により、本田委員と瀬古委員を指名いたします。

次に、日程第4、教育長事務報告に移ります。

先月3月19日から4月22日までの事務報告について別紙をご覧ください。

では、私から事務報告をさせていただきます。この3月末、それから4月の初めということで、年度が替わるという時期でもありました。主に人事異動に関わるような案件、それから大変たくさんのお客様があったという状況と、それから新年度になってからは挨拶回り、県の教育委員会や人権センター、そして市内の関係機関等と学校も含めて回らせていただきました。それと、年度初めでございますので、最近はといいますと、それぞれいろんな団体の会議がございますので、そういったところへ出席をさせていただいていることが多くございます。

入園式、入学式には委員の皆さん方にも出席をいただいたということもありますので、またその辺の状況について、後ほど委員さんからもお話をいただければと思います。

大変簡単ですけども、そういう状況であったということを報告させていただきます。

今のことについてご質問等はないでしょうか。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北脇教育長】 では、ないようですので、次に移らせていただきます。日程第5、付議事項(1)議案に移ります。議案第12号、専決処分につき承認を求めることについて、野洲市教育支援委員会委員の委嘱について、説明をお願いします。

小寺次長、お願いします。

【小寺教育部次長(学校教育担当)】 失礼します。今年度も引き続き、教育部次長を務めさせていただきます小寺でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、議案第12号について説明をいたします。議案書の1ページから3ページをご覧ください。

野洲市教育支援委員会委員の委嘱につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第1項及び野洲市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定に基づき、令和7年4月1日に別紙のとおり専決処分をいたしましたので、これを報告し承認を求めらるるものでございます。

3ページをご覧ください。今年度、教育支援委員会委員さんをお願いしている方々です。任期は1年になります。備考欄のカテゴリーにおいて、それぞれ推薦いただいた方を中心に委嘱をさせていただいているということでございます。

以上でございます。ご承認をよろしく申し上げます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました議案第12号について、ご質問等はございませんか。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、これより採決に移ります。

議案第12号、専決処分につき承認を求めることについて、野洲市教育支援委員会委員の委嘱について、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第12号は可決されました。

次に、議案第13号については欠番とし、後ほど新たに議案第22号、23号で説明をお願いしたいと思います。

それでは、次に議案第14号から15号について、野洲市社会教育委員に関する一連の内容であることから、一括にて説明をお願いします。

井狩課長、お願いします。

【井狩生涯学習課長】 生涯学習課・井狩です。よろしくお願いいたします。

それでは、議案第14号、ページで言いますと7ページから12ページになります。議案書関係資料は4ページでございます。

本議案につきましては、教育委員会を招集する時間的余裕がなかったため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第1項及び野洲市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定に基づき、解嘱につきましては令和7年3月31日に、委嘱につきましては令和7年4月1日、次のように処分いたしましたので、これを報告し承認を求めらるるものでございます。

提出理由といたしましては、議案書9ページと12ページに委員の名簿を掲載させていただいております。社会教育委員会の委員9名のうち第1号委員、学校教育の関係者2名を校長会より推薦をいただいておりますけれども、4月の人事異動によりまして9ページ、北野小学校・永石校長と中主中学校・宇野校長の後任といたしまして、12ページの名簿のとおり、祇王小学校の松本淳子校長と野洲北中学校の山口孝志校長に委員を委嘱するために議案を提出するものでございます。

なお、任期につきましては残任期間の令和8年7月31日までとするものでございます。

以上、よろしくお願いいたします。

【北協教育長】 ただいま説明がありました議案第14号から15号について、ご質問等はございませんか。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 　では、ないようですので、これより採決に移ります。

　まず議案第14号、専決処分につき承認を求めることについて、野洲市社会教育委員の解
嘱について、賛成の方の挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

【北協教育長】 　挙手全員であります。よって、議案第14号は可決されました。

　続いて、議案第15号、専決処分につき承認を求めることについて、野洲市社会教育委員
の委嘱について、賛成の方の挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

【北協教育長】 　挙手全員であります。よって、議案第15号は可決されました。

　次に、議案第16号、専決処分につき承認を求めることについて、野洲市学校運営協議会
委員の委嘱について、説明をお願いします。

　蜂屋参事、お願いします。

【蜂屋生涯学習課参事】 　生涯学習課・蜂屋です。よろしくお願いいたします。

　議案第16号、専決処分につき承認を求めることにつきまして、野洲市学校運営協議会設
置及び委員の委嘱についてご説明いたします。

　議案書の13ページから15ページ、議案関係資料5ページから7ページをご覧ください。

　議案第16号、野洲市学校運営協議会設置及び委員の委嘱について、教育委員会を招集す
る時間的余裕がなかったため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第1項及び
野洲市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定に基づき、令和7年4月1
日、次のように処分いたしましたので同条2項の規定によりこれを報告し、承認を求めるも
のでございます。

　野洲市学校運営協議会規則の改定により、令和6年より市内9小中学校に加えまして、4幼
稚園でも学校運営協議会の設置及び委員を委嘱いたしました。計13校園の委員の一覧は議
案書の15ページのとおりです。

　以上です。ご承認、よろしくをお願いします。

【北協教育長】 　ただいま説明がありました議案第16号について、ご質問等はございま
せんか。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

【北協教育長】 　では、ないようですので、これより採決に移ります。

　議案第16号、専決処分につき承認を求めることについて、野洲市学校運営協議会委員の
委嘱について、賛成の方の挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

【北協教育長】 　挙手全員であります。よって、議案第16号は可決されました。

　次に、議案第17号から18号については、野洲市歴史民俗博物館協議会委員に関する一連
の内容であることから、一括にて説明をお願いします。

　大岡館長。

【大岡歴史民俗博物館長】 　歴史民俗博物館の館長の大岡と申します。どうぞよろしく
お願いします。

　議案書につきましては16ページになりますので、ご覧いただきたいと思ひます。

　議案第17号、野洲市歴史民俗博物館協議会委員の解嘱についてでございます。当該博物

館協議会委員といたしまして次の者を解嘱することについて議決をいただきますようお願いいたします。

17ページの委員名簿のうち、9番目の光永智委員及び10番目の武原正樹委員のお2人が4月1日付の人事異動により異動されましたことを受けまして、委員の解嘱について議決を求めるものでございます。

続きまして、議案書18ページになります。議案第18号、野洲市歴史民俗博物館協議会委員の委嘱についてでございます。当該博物館協議会といたしまして次の者を委嘱することについて議決をいただきますようお願いいたします。先のお2人の人事異動に伴う後任の委員として19ページの委員名簿の9番目、山口孝志様及び10番目の上品充朗様のお2人を新たな委員として委嘱することについて議決を求めます。

なお、任期につきましては、野洲市歴史民俗博物館条例第13条の4、「委員が欠けた場合における補欠委員の任期は前任者の残任期間とする」という規定によりまして、令和8年4月30日までとさせていただきます。

規定につきましては、議案書関係資料の冊子10ページに掲載しております。

以上、よろしく願いいたします。

【北協教育長】 ただいま説明がありました議案第17号から18号について、ご質問等はありませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

まず、議案第17号、野洲市歴史民俗博物館協議会委員の解嘱について、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第17号は可決されました。

続いて、議案第18号、野洲市歴史民俗博物館協議会委員の委嘱について、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第18号は可決されました。

次に、議案第19号、野洲市教育委員会事務評価委員会委員の委嘱について説明をお願いします。

川崎次長、お願いします。

【川崎教育部次長】 教育部・川崎です。どうぞよろしく願いいたします。

議案第19号、野洲市教育委員会事務評価委員会委員の委嘱について、ご説明をさせていただきます。

議案書は20ページ、21ページ、議案関係資料は11ページと17ページからとなります。議案書20ページをご覧ください。

本議案につきましては、前委員の任期が令和7年3月31日に満了となっております野洲市教育委員会事務評価委員会委員を委嘱することについて議決を求めるものです。

議案書21ページをお願いいたします。委嘱する委員につきましては、1号委員としまして元野洲中学校校長の三村益夫様、2号委員として元野洲市教育部長の藤池弘様、3号委員として社会教育委員の上田智子様委嘱するものです。

1号委員の三村様、2号委員の藤池様につきましては、前期よりの再任となっております。
任期につきましては、令和7年5月1日から令和9年3月31日までとするものです。
以上、よろしくお願ひいたします。

【北協教育長】 ただいま説明がありました議案第19号について、ご質問等はござい
ませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

議案第19号、野洲市教育委員会事務評価委員会委員の委嘱について、賛成の方の挙手
をお願いします。

(賛成者挙手)

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第19号は可決されました。

次に、議案第20号、野洲市教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱について、説明をお
願ひします。

川崎次長、お願いします。

【川崎教育部次長】 続きまして、議案第20号、野洲市教育振興基本計画策定委員会委
員の委嘱についてご説明をさせていただきます。

議案書は22、23ページ、議案関係資料は12ページと17ページからとなります。

議案書22ページ、本議案につきましては今年度末に計画期間が終了します野洲市教育振
興基本計画の令和8年度からの第4期計画を作成するに当たり、野洲市教育振興基本計画策
定委員会の委員を委嘱することについて議決を求めるものです。

議案書23ページをお願いいたします。委嘱する委員につきましては、1号委員として篠原
小学校長の小濱玲子様、同じく中主中学校長の宇野比呂久様、2号委員としまして保護者代
表の戸倉千尋様、3号委員の公募によります委員としまして田中修様と富波京子様、4号委
員の学識経験者として兵庫教育大学教授の大野裕史様と京都橘大学教授の佐敷恵威子様、5
号委員として社会教育委員会委員の小澤郁乃様に委嘱するものです。

任期につきましては令和7年5月1日から令和8年3月31日までとするものです。どうぞよろ
しくお願ひいたします。

【北協教育長】 ただいま説明がありました議案第20号について、ご質問等はござい
ませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

まず、議案第20号、野洲市教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱について、賛成の方
の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第20号は可決されました。

次に、議案第21号、野洲市図書館協議会委員の委嘱について、説明をお願いします。

【早田野洲図書館長】 野洲図書館館長の早田でございます。本年度も引き続き、どう
ぞよろしくお願ひいたします。

議案第21号、図書館協議会委員の委嘱についてご説明申し上げます。

議案書24ページから25ページ及び議案関係資料13ページから16ページをご覧ください。

議案第21号、野洲市図書館協議会委員の委嘱について、野洲市図書館協議会委員として議案書25ページ、野洲市図書館協議会委員案に挙げるものを委嘱することについて議決を求めるものです。

議案の提出理由は現在の図書館協議会委員の任期が令和7年4月30日を持って満了することから、同年5月1日付で次期議員を委嘱するためでございます。次期委員の任期は令和7年5月1日から令和9年4月30日まで2年間となります。

以上、ご審議くださいますようお願いいたします。

【北協教育長】 ただいま説明がありました議案第21号について、ご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

議案第21号、野洲市図書館協議会委員の委嘱について、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第21号は可決されました。

次に、追加となりました議案第22号から23号について、野洲市永原御殿跡調査整備委員会委員に関する一連の内容であることから一括にて説明をお願いします。

福永課長、お願いします。

【福永文化財保護課長】 文化財保護課長の福永でございます。今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

議案第22号並びに23号、専決処分につき承認を求めることにつきまして、野洲市永原御殿跡調査整備委員会委員の解嘱並びに委嘱について、関連する議案でございますので、併せてご説明させていただきます。

追加別とじの議案書をご覧いただきたいと思ひます。関連資料につきまして、議案書関係資料の3ページでございます。

野洲市永原御殿跡調査整備委員会委員の解嘱並びに委嘱につきまして、教育委員会を招集する時間的余裕がなかったため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第1項及び野洲市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定に基づき、令和7年4月1日に、次のように処分しましたので、これを報告し承認を求めるものでございます。

内容といたしましては、野洲市永原御殿跡調査整備委員会委員8名のうち、2号委員で永原御殿の存在する地域を代表する者に、祇王学区自治連合会の会長さんに就任をいただいております。令和6年度に今井正三様が就任されておりましたが、任期満了に伴い令和7年4月1日から新たに喜屋武圭介様に自治連合会会長が交代となりましたので、委員につきましても交代をお願いするものでございます。

任期といたしましては、残任期間の令和9年3月31日までとなります。

内容としては以上でございます。

【北協教育長】 それでは、ただいま説明がありました議案第22号から23号について、ご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

まず、議案第22号、専決処分につき承認を求めることについて、野洲市永原御殿跡調査

整備委員会委員の解嘱について、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第22号は可決されました。

続いて、議案第23号、専決処分につき承認を求めることについて、野洲市永原御殿跡調査整備委員会委員の委嘱について、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【北協教育長】 挙手全員であります。よって、議案第23号は可決されました。

次に、日程第6、報告事項に移ります。

報告事項①、野洲市地域教育協議会委員の解嘱及び委嘱について説明をお願いします。

井狩課長、お願いします。

【井狩生涯学習課長】 生涯学習課・井狩です。

報告事項の①、1ページ、2ページでございます。野洲市地域教育協議会委員の解嘱及び委嘱につきまして報告をさせていただきます。

まず、解嘱につきましては、1ページの名簿に記載の第3号委員、コミセンしのはら、大堀清子さんの退職に伴いまして、令和7年3月31日解嘱をいたしました。

また、同じく第3号委員、野洲市立中主小学校、井上善之校長、篠原小学校、中野正俊教頭の人事異動に伴いまして、同日解嘱をいたしました。

この解嘱に伴いまして、2ページの名簿のとおり、新たに3号委員にコミセンしのはら、林美穂さん、三上小学校、井関保彦校長、中主小学校、西川和典教頭を令和7年4月1日に委嘱を行いましたので、報告をさせていただくものでございます。

なお、野洲市地域教育協議会設置要綱第4条の2の規定に基づきまして、前任者の残任期間でございます令和8年3月31日までとするものでございます。

以上、報告とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま事務局より説明がありました報告事項①について、ご質問等はありませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に移ります。

報告事項②、野洲市家庭教育支援員の委嘱について、事務局より説明をお願いします。

蜂屋参事、お願いします。

【蜂屋生涯学習課参事】 生涯学習課・蜂屋です。

報告事項3ページをご覧ください。令和7年度家庭教育支援員の委嘱について報告させていただきます。

野洲市では、令和5年度より家庭教育支援員を設置し、令和7年9校全てに、9人の方を委嘱いたしました。

なお、名簿のとおり、括弧2名以内という規定の下、中主小学校については2名の方、そして野洲小学校と野洲中学校は同じ方を委嘱させていただいております。

以上です。ご協議、よろしく申し上げます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項②について、ご質問等はありませんか。

(「なし」の声あり)

【北脇教育長】 ないようですので、次に移ります。

報告事項③、野洲市地域学校協働活動推進委員の委嘱について、説明をお願いします。
蜂屋参事、お願いします。

【蜂屋生涯学習課参事】 失礼します。続きまして、報告事項4ページをご覧ください。
令和7年度野洲市地域学校協働活動推進員の委嘱について報告させていただきます。

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで、ご覧のような方々と共に地域学校協働活動を推進していくということを報告いたします。

以上です。

【北脇教育長】 ただいま説明がありました報告事項③について、ご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

【北脇教育長】 では、ないようですので、次に移ります。

報告事項④、野洲市小・中学校結核健康診断対策委員会委員の委嘱について、説明をお願いします。

小寺次長、お願いします。

【小寺教育部次長（学校教育担当）】 失礼します。教育次長・小寺でございます。

報告事項の5ページをご覧ください。要綱の規定によりまして教育長が委嘱をするものですが、2年任期の2年目ですので基本的には委員さんの交替はございませんが、4号委員の方のみ人事異動によりまして奥田真妃さんをお願いすることになっております。残任期間ですので、令和8年3月31日までの任期ということになります。

以上でございます。

【北脇教育長】 ただいま説明がありました報告事項④について、ご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

【北脇教育長】 ないようですので、次に移ります。

報告事項⑤、令和6年度第4回社会教育委員会議の概要報告について、説明をお願いします。

井狩課長、お願いします。

【井狩生涯学習課長】 生涯学習課・井狩です。

報告事項⑤、6ページ、7ページでございます。

令和6年度第4回野洲市社会教育委員会議の結果につきまして報告をさせていただきます。

令和7年3月26日水曜日午後2時から当人権センター2階じんけん交流研修室で実施をいたしました。出席者につきましては記載のとおりでございます。

まず、議事といたしまして、「第3次野洲市子ども読書活動推進計画の取組について」、これにつきましては、令和6年度が最終年度で、計画期間中の取組につきまして説明を行った上で、各委員からご意見を伺いました。当該計画の取組について関係機関等へさらなる周知を図ることや社会福祉協議会と連携できるように取り組むようになどのご意見がございました。

次に、令和7年度野洲市社会教育関係団体活動補助金の交付金については、補助金の交付について社会教育委員に意見を聞かなければならないのであれば、補助金、補助の根拠

となる活動内容や予算の収支実績等を示すようにというご意見がございました。これにつきましては、次年度対応させていただくということで答えをお返ししているものでございます。

次に、第3期生涯学習振興計画の進行管理につきましては、令和6年3月に策定した当該計画が策定から1年を経過しましたので、その進捗管理の方法につきましてご意見がございました。計画に示されている取組を推進する所管課が進行管理しやすい進行の管理シートを作成するようにとご意見がございました。

報告事項では、第4次野洲市子どもの読書活動推進計画の策定について、令和7年3月に策定した当該計画のパブリックコメントの結果につきまして説明をしたものでございます。

委員から意見をいただきました内容につきましては記載のとおりでございます。

なお、このパブリックコメントにつきましては、当教育委員会の2月の定例会で報告をしております。

以上、報告とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項⑤について、ご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 ないようですので、次に移ります。

報告事項⑥、令和6年度第4回図書館協議会の概要報告について、説明をお願いします。

早田館長、お願いします。

【早田図書館長】 図書館長の早田でございます。

報告事項⑥、令和6年度第4回図書館協議会の概要報告について説明いたします。

報告事項の8ページから9ページになります。どうぞご覧ください。

去る3月14日金曜日午後2時より令和6年度の第4回目の図書館協議会を開催いたしました。当日、出席者は7名、欠席が3名、その他事務局として図書館職員が3名出席しております。

では、当日の議事内容について簡単にご説明いたします。大きく4点について協議会委員の方から意見を求めたものでございます。

議事の1つ目は、今年の1月15日から2月9日に実施しました図書館アンケートの結果についての説明です。今回、定例会の事前配付資料には入れておりませんでした。今回定例会で説明させていただくに当たり、少し分かりにくい部分があると思われましたので、教育委員の皆様には当日配付資料としましてカラー刷りのまとめ資料を配付させていただいております。

また、同じものは図書館ホームページにも公開済みです。今、野洲図書館でもアンケート結果を掲示しているところでございますので、またよろしければご参照いただけたらと思います。

このアンケートにつきましては、実施期間が空調の工事期間と重なってしまい、来館が少ない時期であったということもあり、館内でのアンケート用紙の回答は減少しました。

一方、インターネット経由の回答は増加という結果になりました。

そのアンケートの中身ですけれども、例えば図書館の資料のことですか、図書館の職員対応など、おおむね満足度につきましてはほぼ例年どおり、おおむね満足いただいているという回答になっております。

図書館協議会委員からは、回答者の年齢比率をご覧になって高齢の方に偏っているのではないかというご指摘がございました。それは主に日常的に高齢者の方の来館が多いという現状を反映したものではないかと、回答させていただいております。そのほか、図書館でのカフェの拡充等についてご意見をいただいております。よりよいものになるよう検討できないかというご意見をいただきましたので、そのことについてご案内させていただきました。

議題の2つ目は令和6年度の2月末までの利用状況の報告です。図書館の利用状況は空調工事の休館前、10月まではほぼ前年並みで推移しておりましたが、工事休館以降、前年度を割り込んだという状況などを説明したところです。委員のほうからは、新規購入冊数の減少などについて質問がありました。

この協議会では、主に2月末までの状況を報告しましたが、令和6年度のトータルの利用統計につきましては先日とりまとめが完了しましたので、来月5月の教育委員会定例会で改めてご報告させていただく予定です。

議題の3つ目は、令和7年度の事業方針についての説明です。令和7年度に学校司書が配置されることが決まっておりましたので、それを踏まえて学校図書館事業が軌道に乗るまで、野洲図書館ができる限りの支援を継続して行う旨、図書館協議会のほうに報告させていただいております。

図書館協議会委員からも、学校司書に対しては期待の声が多く聞かれているというところでございます。

最後、議題の4つ目としまして、図書館の令和7年度予算の要求状況について説明させていただきました。昨年3月に開催した図書館協議会の際、資料費が大きく減額となったことを受け、市長への意見書という形で資料費増額を訴えられたという経緯がございます。令和7年度予算については、若干の増額があったものの、この額が十分ではないということに対して図書館協議会委員からは、今年は、今年は令和6年度のことですが、「今年は新しい本が全然なかった、全国的に見てよく本を読む野洲図書館に対しての予算のつけ方、これについては怒りしかない」など、厳しいご意見を頂戴しました。図書館からは市の厳しい財政状況の中、最大限予算獲得の努力をした結果であること、または引き続き何とか予算要求は続けていくことをご説明させていただきました。

以上、簡単ですが、令和6年度第4回図書館協議会の報告とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項⑥について、ご質問等はいかがでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 ないようですので、次に移ります。

報告事項⑦、令和7年度小・中学校の児童生徒数・学級数について、説明をお願いします。原嶋参事、お願いします。

【原嶋学務課参事】 学務課の原嶋です。報告事項10ページ、11ページをご覧ください。令和7年度野洲市小・中学校児童生徒数・学級数を報告します。

小学校の児童数は2,751人、学級数は特別支援学校を含めて123学級、中学校の生徒数は1,385人、学級数は特別支援学級も含めて57学級です。

以上、報告とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項⑦について、ご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 ないようですので、次に移ります。

報告事項⑧、令和6年度小・中学校寄附採納について、説明をお願いします。

荒川課長、お願いします。

【荒川学務課長】 学務課・荒川です。

報告事項⑧、令和6年度小・中学校寄附採納についてご報告をいたします。

資料の12ページをご覧ください。

令和6年4月、福永宣彦様から4回線音声応答装置、いわゆる留守番電話機器になりますけれども、機器及び工事費をはじめ各個人や団体等からの寄附を受けましたので、本資料をもってご報告とさせていただきます。

以上でございます。

以上、報告とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項⑧について、ご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に移ります。

報告事項⑨、令和6年度幼稚園・こども園寄附採納について、説明をお願いします。

中野課長、お願いします。

【中野こども課長】 失礼いたします。こども課長の中野でございます。

それでは、報告事項の⑨、13ページになります。令和6年度幼稚園・こども園寄附採納一覧をご覧ください。

まず、一番上のところですが、滋賀県野球連絡協議会の会長様より、ティー・ボール用具一式頂きましたのと以下、ご覧のとおり寄附採納があったところでございます。

内容につきましてはご覧いただきまして、今後、また大切に取扱いをさせていただくという形になります。

報告としては以上となります。よろしく申し上げます。

以上、報告とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項⑨について、ご質問等はございませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 ないようですので、次に移ります。

報告事項⑩、令和7年度保育園・幼稚園・こどもの家等の入園入所状況等及び野洲市三方よし人材バンク等の令和6年度実績について、説明をお願いします。

中野課長、お願いします。

【中野こども課長】 引き続き、こども課長・中野です。

報告事項⑩の14ページになります。ご覧ください。令和7年度の保育園・幼稚園・こどもの家等の入園入所状況及び野洲市三方よし人材バンク等の令和6年度実績についてでございます。

まず、1番目ですけれども、保育園・こども園・保育園部になります、それと小規模保育園の今年度4月1日時点の入園入所状況でございます。項目の令和7年度の欄をご覧ください。

定員としましては全体で1,186人となっております、希望者数が1,299人おられました。そのうち入所園児数につきましては1,179人ということで、前年度が下の段にあるんですけれども、20人増えております。その横の右隣ですけれども、定員に対する入所園児の割合ですが、99.4%ということで、ほぼほぼ入園いただいているんですけれども、その右隣の希望者数に対する入所園児数につきましては90.8%という形になっておりまして、待機児童数としては総数では120ですけれども、国基準で言いますと23名という形で、これまで10人ぐらいで推移していたんですけれども、このたび13人増えたということで待機児童が増えている状況となっております。

次に、2番の幼稚園・こども園・幼稚園部の報告でございます。令和7年度につきましては、定員が1,265人に対しまして希望者数が485人ということで、こちらにつきましては前年度から79人減っております。入園園児数につきましては、希望者と同数で485人という形になります。定員に対する入園園児は38.3%となっております、先ほども申しましたけれども、全員の方が入園できておりますので、希望者に対する入園園児の割合は100%となっており、待機児童数はございません。

次に、3番目のこどもの家、学童保育所についてです。こちら、令和7年度1,275人ということで、前年度から100人の定員を増やしております。希望者数は1,263人となっております、入所児童数も同じく1,263人となっております。

また、学童保育所につきましては、通年利用と季節、いわゆる夏休み、春休み、冬休みの利用もできますので、これも内訳を括弧書きに書かせていただいております。定員に対する入所児童が99.1%で、全員の方を受入れできておりますので、希望者に対する入所児童数は100%で、待機児童数はございません。

下に少し文書で説明がありますとおり、保育園・こども園の保育園部、小規模保育園におきます国基準の待機児童が23人と先ほども申しましたけれども、前年度と比較しますと13人増えている状況となっております。内訳につきましては、1から2歳児さんに待機児童が多いということもありまして、これまで小規模保育園の開園整備、保育の受け皿整備をしてきたところですが、依然保育ニーズが高いということと、加えまして保育人材が不足しております。これは全国的な状況でもあるんですけれども、保育人材が不足しているということもありまして、引き続き野洲市三方よし人材バンク等によりまして人材の確保等を図り、待機児童の解消を図っていく必要があると認識しているところでございます。

4番目に、その今言いました野洲市三方よし人材バンクの採用実績、令和6年度の実績になります。保育士34人、幼稚園教諭18人をはじめ、全体で58人の採用実績となっております。前年度35人に対して増えておりますので、かなり採用に努めたところではあるんですけれども、まだまだ人材確保が必要であるという形になります。

なお、この58人ですけれども、下に少し※で補足しております。野洲市三方よし人材バンク、平成28年に立ち上げているんですけれども、これまで登録された方の中で令和6年度に採用に至った人数という形になりまして、令和6年度のみ登録されて採用になったというのは、表記していませんけれども、12人の方がおられました。

そして、最後5番目ですけれども、保育士確保に係る事業実績というところで、3つ事業を行っております。6年度です。野洲市保育士等保育料補助事業。こちらにつきましては、現在保育士として働いておられない、いわゆる潜在保育士の方が新たに保育士として働かれる場合のそのお子様の保育料を補助するという事業でございます、これが7件ございました。

次の野洲市保育士の宿舎を借上げ支援事業。こちらは民間園、民間事業者さんが保育士のために宿舎を借り上げた際に、その家賃等を補助、支援する事業でございます、それが3件ございました。

そして、野洲市保育士等奨学金返還支援事業です。こちらは保育士さんが奨学金を返還するときの返還金の支援を行うものでして、こちらは4件、事業の実績としてあったところでございます。

今後も引き続き、待機児童が発生しないように、いろんな施策を打っていきます。一旦、入園入所状況と人材確保に関する令和6年度の実績についての説明としては以上とさせていただきます。よろしく申し上げます。

以上、報告とさせていただきます。

【北脇教育長】 ただいま説明がありました報告事項⑩について、ご質問等はございませんか。

南出委員。

【南出委員】 はい、ありがとうございます。先ほどご説明いただいた4番の件で、採用の実績ですが、58名ということですが、下に書かれているとおり、登録された方、皆さんが採用されているのか、もっと分母が大きくて採用人数がこの58名なのかというのが1点と、この採用に関して、例えば短大とか大学を卒業して資格をお持ちになった新卒者の方なのか、一旦資格を持ちただけでも現場を離れていた方がまた改めてということでここに登録されて採用されているのかというのを、分かれば教えてください。

【中野こども課長】 こども課長・中野です。ご質問、ありがとうございます。

まず、1点目の58名なんですけれども、これはおっしゃいましたように、分母といいますか、登録された方はもっと数多くおられまして、その中で採用に至ったのが58名だったということでございます。

それから、採用された方の新卒者なのかということなんですけれども、これは新卒に限らず、過去に保育士の資格を取られた方や、幼稚園の教員免許を取られた方が例えばすごい昭和の時代に取られたという方もおられます。今現在は保育士なり幼稚園の先生なりとして働いていなくて、昔、そういう資格を持った方もぜひということで登録いただいた方も含まれておりますので、特に新卒の方だけに限ったものではございません。

【南出委員】 ありがとうございます。

そうすると、今、新卒の方、大学等で資格を目指されている方、たくさんいらっしゃるんですけれども、新卒の方がその登録される熱というのはどういった状態なんでしょうか。

【中野こども課長】 こども課長・中野でございます。ご質問、ありがとうございます。

新卒の方がどれほどおられるかというのは、今、資料を持ち合わせておりませんので、ちょっとはっきりした数字を申し上げられてなくて申し訳ないですけれども、この人材バンクの各種取組の中で、大学のほうに出向いて新卒の方にぜひとも野洲市のほうで働いて

くださいとか、人材バンクの登録もできますということはPRも兼ねて言わせてもらっています。

ただ、大学さんのほうからの情報によりますと、以前のことを思うと、保育士にそのままなるという方がどうも減っているという状況は聞いております。民間の企業にお勤めいただく方もたくさん増えてきているそうです。

また、保育士の養成の学校、大学とかに通っておられる学生さんなんですけれども、働くにはやっぱり地元で就職したいとかいう方がたくさんおられるみたいで、すぐさまこの保育士に、当然なられる方もあるんですけれども、なかなか野洲市のほうでというのではなくて、地元でまた民間企業に勤めたいという方も増えているみたいなので、要は新卒の方がどれぐらいおられるかという具体的な数字はないんですけれども、減っているような感覚を持っているところです。

【南出委員】 ありがとうございます。恐らく短大、大学等で資格を目指すために学校に向かわれる方は、大多数が野洲駅をご利用ではないかなと思います。私、以前もお伝えさせていただいているんですが、そういう通っている子どもたちが目につくところに、例えばこういう人材バンクのポスターや、ぜひ野洲市で働いてみませんかというようなPRというのがもし駅とかでできるのであれば、それに目を止めると、その気持ちがそちらに向いてくれる子もいるのではないかなとも感じております。やはりそういう情報提供が大切なのではないかなと思いますし、例えば成人式のときにそういうPRとなるポスターを貼ったりとか、子どもたち、生徒たちが目に止まるところにそういうものを掲示していくことも必要ではないかなと感じました。

以上です。

【中野こども課長】 こども課・中野でございます。ご提案、ありがとうございます。

さっきの質問のところ、新規採用の方については、当然フルタイムで保育士として働かれる場合は人事課の新規採用にはなってきます。人材バンクについては会計年度任用職員という形での採用になってきます。

今おっしゃいましたPRにつきましては、こちらもホームページとか広報とか各大学さんのほうにポスターを貼ってくださいとか当然取組はしているんですけれども、南出委員がおっしゃったように、例えば駅の目につくようなところに貼ってPRしたりとか、あと成人式とか野洲市のいろんなイベントですね、やすまる広場とかいろいろございますので、そういったたくさんの方の目につくところでポスターを掲示するなり、もしくはポスターだけではなくて、SNSとかも普及していますので、そういったところで情報発信したりという形で努めていきたいなと思います。

ありがとうございます。

【北脇教育長】 では、ほかどうでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北脇教育長】 では、ないようですので、次に移ります。

報告事項⑩、令和6年度文化財保護課事業報告について、説明をお願いします。

福永課長、お願いします。

【福永文化財保護課長】 文化財保護課長の福永でございます。報告事項⑩ということで、資料の15ページをご覧くださいと思います。

令和6年度文化財保護課事業報告ということで、内容をかい摘んでご説明させていただきます。

まず、(1)埋蔵文化財発掘調査事業ということで、令和6年度について遺跡の範囲内で掘り下げを伴う工事の届出が178件ございました。

その次に、取扱い内訳ということで各件数記しておりますけれども、最初の確認調査1件というのは、この178件に含まれませんで、後の発掘調査、それと遺構遺跡が存在するかどうか試験掘りを行う試掘調査が42件、軽微な工事立ち会いで済ます案件が14件、遺跡には影響がないのでそのまま工事着工してくださいという慎重工事の取扱い117件の届出となっております。

①から発掘調査事業、具体的な内容に移りますけれども、①の市内遺跡発掘調査事業といいますが個人住宅の建設に係る発掘調査ですとか、先ほど申しました遺跡のあるかないかを試掘する調査になります。確認調査1件と、あと本発掘調査3件、試掘調査45件を実施しております。上の届出件数と数値が微妙に異なりますのは、届出件数は年度末に届出が出てきたものについては、令和7年度に調査を実施するものと、あと令和6年度当初に発掘調査実施したもののうち、令和5年度末に届出があったもの、そういったカウントの差があるためでございます。

主立った成果としましては、国史跡亀塚古墳、確認調査の1件ですけれども、史跡の範囲外に古墳の一部が飛び出しているのではないかという従来の課題を解決するために発掘調査しまして、実際に古墳の一部が検出されたという内容でございます。

②番、受託発掘調査事業は民間開発に伴う発掘調査で、調査費を事業主さんにご負担いただいて発掘調査を実施しております。発掘調査件数としましては、6件の発掘調査を実施しております、前年度に引き続き整理調査1件と、あと前々年度に実施しました発掘調査の報告書を刊行するもの1件がございました。

③番、公共事業発掘調査事業。これは野洲市が実施する公共事業に伴って発掘調査を実施するもので、令和6年度については発掘調査はございませんでした。

ただし、令和5年度に給食センターの空調設備の増設に伴う発掘調査を実施しております、その発掘調査の結果を報告書としてまとめております。

その他としまして、先ほど申し上げました史跡亀塚古墳の発掘調査に伴って、9月29日に現地説明会を実施しまして、205名の方にご参加いただいております。

16ページに参ります。(2)番、永原御殿跡保全整備事業。主立った事業として、発掘調査、活用事業、そして整備工事、それと土地購入というふうでございます。

発掘調査につきましては、本丸の「御休息所」というところを前年度に発掘調査しまして、令和5年度中に現地説明会が実施できませんで、令和6年度当初に現地説明会を実施させていただいたものです。令和6年度の実際の調査としましては、それと異なる部分を「御年寄衆之湯殿」と言われているところの発掘調査80㎡を実施しました。

それと、それに伴って活用事業ということで、令和6年8月24日と25日に一般参加を募りまして、夏休み発掘調査体験教室を開催しております。

②番の活用事業で、3月9日には永原御殿跡フォーラム「シンポジウム—近江のお城とまちづくり—」と題しまして、野洲文化小劇場で実施をさせていただきました。当日、230名の方にご参加をいただいております。

③番、整備工事ということで、前年度に引き続きまして本丸西側に高さ3mの土塁がございますが、その修復工事を実施しております。

④番、史跡地公有化につきましても令和6年度実施しまして、その結果、本丸の公有化率は90%を超えたと。残り1筆ということで、こちらも進捗を見ております。

(3)番、指定文化財修理事業等で、こちらは市内の国指定、県指定、市指定の文化財の補助事業を行っております。主には建造物につきまして防災設備の保守点検、それと先だっで資料提供をさせていただきましたが、国宝御上神社本殿等防災設備整備事業で、令和5年度から6年度にかけて総事業費1億8,000万の事業で、防災設備の更新工事を行っております。

(4)番、史跡公園管理運営事業としましては、史跡大岩山古墳群の桜生史跡公園、あるいは永原御殿跡の管理につきまして事業を実施しております。

11月3日に史跡円山古墳、甲山古墳の石棺特別公開を実施しまして、当日は220名の参加いただいております。

(5)その他というところで、生涯学習の出前講座ですとか各種講師派遣を積極的に対応させていただいております。資料の18ページにあります内容で実施をさせていただいております。

19ページに参りまして、大きな数字の2、野洲市文化財保存活用地域計画策定事業、令和6年度が2年目に当たりました。最終の原稿執筆までたどり着きまして、年度末、1月から2月にかけてはパブリックコメントなども実施させていただきまして、その結果につきましては前回の定例会でも報告をさせていただきました。今後、令和7年度によいよ策定に向けて最終の締めくくりの調整をさせていただいて、7月の文部科学省の文化審議会で承認をいただき、文化庁認定をいただき策定をするという運びで準備を進めさせていただいております。

令和6年度事業報告としましては以上です。

以上、報告とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項⑩について、ご質問等がございますか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に移ります。

報告事項⑫、令和6年度歴史民俗博物館事業報告について、説明をお願いします。

大岡館長、お願いします。

【大岡野洲市歴史民俗博物館長】 失礼します。歴史民俗博物館・大岡でございます。

報告事項⑫、令和6年度野洲市歴史民俗博物館事業について説明させていただきます。

報告事項の20ページから21ページをご覧くださいますようお願いします。

まず、企画展等開催事業では、春に年度をまたがるテーマ展としまして、「ちょっとむかしの農具ーたがやす、うえるー」と題し、江戸時代から昭和30年代までの道具38点を紹介いたしました。5月18日には展示に合わせた講演会を開催し、期間中の入館者は1,579名となりました。

夏には「夏休み！こども博物館」と題しまして、子どもを対象に博物館の役割、野洲市の歴史などを110点の展示資料で分かりやすく紹介いたしております。期間中の入館者は1,756名となりました。

秋には本市縁の北村季吟の誕生400年を記念しまして、「北村季吟ー芭蕉の師・生誕400年記念ー」を開催いたしております。季吟直筆の日記など210点の資料を展示いたしまして、江戸時代の人々に古典文学を普及させたことなどを紹介いたしております。記念講演や展示解説も併せて開催いたしまして、期間中の入館者は1,321人となりました。

冬から春にかけては郷土史展「三上山の妙見さん」を現在開催中でございます。江戸時代に三上藩主の遠藤氏が三上山の中腹に妙見堂を建てて妙見菩薩を祭られたものとして、令和6年3月に閉山供養されましたことを受けまして寄贈いただきました資料約20点を郷土史展として本年5月11日まで展示しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

このほか、博物館友の会と共催で歴史講座や銅鐸研究会を開催したりし、野洲市史編纂事業としまして、地域資料を調査と記録に取り組んでおります。さらには、勾玉や土器、埴輪づくりなどの体験学習も実施いたしております。

このような各種事業を展開しまして、令和6年度は年間8,136名の入館をいただきまして、体験学習等につきましては1,767名参加になっております。

最後に、資料の修正をお願いしたいところがございます、報告事項21ページの中ほど、市史編纂事業の2つ目のポツなのですが、「野洲市市史編纂も便り」と書いておりますが、この「も」が必要ございませんので消していただきたいと思っております。

以上をもちまして、令和6年度野洲市歴史民俗博物館事業報告を終了させていただきます。

以上、報告とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項⑫について、ご質問等がございますか。よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に移ります。

報告事項⑬、令和6年度ふれあい教育相談センター事業報告について、説明をお願いします。

堀所長、お願いします。

【堀ふれあい教育相談センター所長】 失礼します。資料22ページからふれあい教育相談センターの令和6年度の事業報告を載せております。

当センターで令和6年度実施いたしました3つの事業について、大まかにポイントを絞って説明をさせていただきたいと思っております。

まず、22ページです。こころの教育相談ということで、不登校やいじめなどの悩みをもつ子どもと保護者に対してお2人のカウンセラーで教育相談を行いました。令和6年度は令和5年度倍増以上の件数を記録いたしまして、非常にカウンセラーお2人にはご苦労いただいたのですが、学校配信システムのtetoruを活用して周知が進んだということもございまして、よりたくさんの利用をいただいたということになっております。本年度から1人の勤務日数を週5日に増やしたことによって、現在対応をしているところですが、4月1日から継続の案件等は入っておりますので、日々忙しくカウンセリングしていただいているという状況です。

23ページ、2つ目名称が変わりました。国の動向等に合わせまして、適応指導教室から教

育支援ルーム「ドリーム」ということで、施設も新しくなりましたし、名前も変わり、装い新たにやっておりますが、大事な活動は変わっておりません。学習指導、個別の支援をしっかりとやりつつ、多彩な体験活動を用意する形で、学校へ通いにくい子どもたちの支援を行っております。

24ページに通所児童生徒の人数等載っているのですが、3年生がたくさん進学をしてくれましたので、現在、令和7年度スタートの時点で、常時来ている児童生徒は大体4名前後の利用を今、見ている状況で、比較的小じんまりと落ち着いて前向きに活動しているというような状況です。

25ページのほうに成果等が載っているのですが、昨年度は通信制や単位制の高等学校のほうへ中学校3年生がたくさん進学をしてくれたということで、それぞれが自分の望む道へ進学してくれたということは大きな成果かなと考えております。

同じく25ページに、なかなか学校にもドリームにも通いにくいという子どもたち向けに、こちら名前が変わりまして、訪問型の教育支援「ウイッシュ」というものを行っております。いわゆるアウトリーチという形で支援員が自宅などを訪問するという事業ですが、26ページの成果と課題のところにも書かせていただいたのですが、昨年度はお家を訪問するという、なかなか前向きなご家庭が少なかったということで、地域の公共施設でありますとか、ふれあい教育相談センターの施設が新しくなりましたので、ふれあい教育相談センターのほうで、週1時間ですが、支援をする形で、そこからドリームにつなげる、個別から小集団につなげるということが何ケースか出てきましたので、真ん中辺りに書いていますが、11人のうち6人が個別からドリームの小集団へ移行することができたということで、こちらも成果かなと考えております。

昨年度の成果のよい部分は残しつつ、課題に対してはしっかり各担当で考えながら、国や県の補助金とも利用しつつ、よりよい支援ができるように今年度も頑張っていこうと考えております。

以上です。

以上、報告とさせていただきます。

【北脇教育長】 ただいま説明がありました報告事項⑬について、ご質問等はありませんか。

【南出委員】 はい、ありがとうございます。先ほどご説明いただいたとおり、5年度から6年度倍以上の人数が増えている。こちらがテトルを利用していることによる大幅に増加したということなんですが、こちらでその1,169件分をまず2名の方でカウンセリングしてくださったということで、実際、言っても1週間にお1人が1日増えただけだと思います。これは令和6年度だけではなくて、やはり令和7年度も同じように引き続き増えるとお二人で回されることが可能なことなのか、厳しい状態であるのかというのを教えていただきたいです。

【堀ふれあい教育相談センター所長】 失礼します。ご質問の件ですが、昨年度は学校との連携等の時間がなかなか取れませんでしたので、こちらを前任の原嶋所長と副所長である和田のほうに間に入る形で、学校との連携を取っていたということで何とか1年間やり切ったというように聞いております。

今年度につきましても、成果と課題、23ページが一番下の辺りにも書いていますが、さ

らなる拡充を目指して国の補助金事業が今日、ちょうど県へ提出したところなんですけれども、いただけることになりましたので、そちらと併せてさらなるカウンセラーの勤務を増やす方法で何とかできないかなとは考えております。

【南出委員】 ありがとうございます。

もう1点が、その令和6年度にテトルを利用されていることでこれだけ件数が増えているんですが、やはり1年経つと令和7年度、テトルが広まっていることによって、現在4月の時点で例年よりも件数が増えているのか、今のところはまだそこまでなのか、教えてください。

【堀ふれあい教育相談センター所長】 失礼します。今のところ、さほど多く増えているというような感じは各担当からは聞いておりません。

ただ、tetoruの配信をタイミングを見て行っていく方向で考えておりまして、学務課のほうからまとめて送っていただこうと思っておりますが、大体不登校とか子どもたち、保護者を含めて、ちょっと疲れの見える5月、ゴールデンウィーク明け、5月9日に1回目の配信を予定しておりまして、その辺りで配信したところで、子どもたちの様子を見て保護者が、「あれっ、何かおかしいな」と思ったら、「こんながあるんだな」というところで、「では、これに相談してみようか」とかいう形で、タイミングを見て配信していきたいなど。

今のところ、ゴールデンウィーク明けと9月、夏休み明けですね、この辺りで配信ができればいいかなと考えております。

以上、報告とさせていただきます。

【北協教育長】 よろしいでしょうか。

【南出委員】 ありがとうございます。

【北協教育長】 ほかどうでしょうか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 ないようですので、次に移ります。

報告事項⑭、職員の任免等について説明をお願いします。

川崎次長、お願いします。

【川崎教育部次長】 教育部・川崎です。

報告書の28ページをご覧ください。報告事項⑭、職員の任免等につきましてご報告させていただきます。

まず、会計年度任用職員の新規採用職員につきましては、フルタイム職員1名、パートタイム職員40名、合計41名の採用を報告するものです。採用者の所属及び期日等につきましては、29ページ記載のとおりとなっております。

次に、退職者につきましては、パートタイム職員1名です。

次に、職員の許可承認等につきましてはパートタイム職員3名で、営利企業等従事許可承認を報告するものです。許可の期間等につきましては記載のとおりです。

以上、報告とさせていただきます。

【北協教育長】 ただいま説明がありました報告事項⑭について、ご質問等はありませんか。

(「なし」の声あり)

【北協教育長】 では、ないようですので、次に日程第7、その他事項に移ります。

何かございますか。

瀬古委員。

【瀬古委員】 一つお聞きしたいと思います。昨今、米価の高騰が問題になっています。学校によっては給食を米飯からパン食に切り替えているという報道もされていますが、野洲市の給食にも米価高騰の影響が出ているのではないかなと思うのですが、現在の状況を教えていただけますか。

【北田学校給食センター所長】 学校給食センターの北田です。

今、瀬古委員がお尋ねになりました、資料は手元にないのですが、毎年、お米の契約につきましては、10月から新米の季節に合わせて契約をしています。実は10月からの契約単価に比べまして12月に一度価格の増額の依頼があって、今、10kg4,700円前後だったというふうに記憶しております。10月から12月までは4,000円前後だったと記憶していますが、その金額の詳細については正確にお伝えすることができませんが、価格のが上がっているのは事実です。

それに伴いまして、米の日数を減らすということに関しては現時点ではは考えていません。現在はパンは月2回、麺が月1回という以外は、お米と麦を混ぜたご飯を提供しているのは変わりません。その上がった価格に関してその差額分につきましては、できる限り安定した食材、野菜ですね、そういったものに切り替えるであったりとか、そういうふうな工夫をして何とか今のところ、現在の負担額で提供はできるというふうに考えております。

以上、お答えでよろしいですか。

【瀬古委員】 野洲市では、子どもたちの給食に大きな影響は出ていないということで安心しました。

しかし、米の価格については今後も高騰が続いていくのではないかと危惧されているところ です。今後、7年度の対応についてはどのように考えておられますか。

【北田学校給食センター所長】 すみません。学校給食センターの北田です。

この先、どういう形でどうするかというのは価格上昇の大きな予測ができませんので何とも言いようがないのですが、とりあえず今現在、例えば中学生様であれば月4,900円という負担金を去年の4月1日から価格改定をさせていただいているのですが、現在負担いただく金額については、国の臨時交付金を活用して価格の改定前の4,300円をいただいています。この差額分600円は国の補助金を活用して価格改定前の月額を納めていただいている形になるのですが、この上で賄いきれなくなった場合は、国の補助金のさらなる拡充を含めて検討していく必要があるかとは考えているのですが、これはあくまでも未定な状態です。確定な情報としてお伝えすることができないかなと考えています。

【瀬古委員】 滋賀県は近畿では米産地の一つですから、やはりアンケートを見てもご飯の給食を望んでいる子どもたちが多く聞いておりますので、今後、米の高騰が続いても野洲市の子どもたちには影響が及ばないよう対応に当たっていただきたいと要望しておきます。

【北脇教育長】 では、ほかにどうでしょうか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【北脇教育長】 では、ないようですので、日程調整に移ります。

まず、5月定例会は5月21日水曜日午後1時30分より、人権センターで開催しますので、よろしくお願ひいたします。

次に、6月教育委員会定例会についてお伺ひします。6月定例会は6月25日水曜日午後1時30分より、人権センターで開催したいと思いますが、ご異議ございせんか。

(「異議なし」の声あり)

【北協教育長】　ご異議ないようですので、6月25日水曜日午後1時30分より、人権センターで開催しますので、よろしくお願ひします。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。これもちまして、本日の会議を閉会いたします。大変お疲れ様でした。

— 了 —